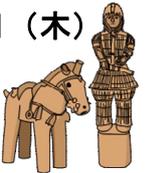


# 静岡県立浜松特別支援学校

## 出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和4年11月24日(木)



### 「生徒に合わせて対応していただきました。」

静岡県立浜松特別支援学校の中学部2年生24人が、美術で埴輪作りをするための導入としてミニはにわを作り、イメージをもち今後の活動を進めやすくすることを目的に、中学部2年部の先生方が計画して、ミニはにわ作り体験を行いました。



#### ミニはにわ作り体験

はじめに、埴輪について簡単に説明しました。埴輪が、古墳でのおまつりの道具であったことや、古墳の持ち主である王が、生前の生活を再現したものであったことなどの説を写真や印刷物を見ながら説明しました。



次に、ミニはにわ作りです。袋から粘土を取り出したら3等分し、3分の1個を胴体にし、残りを腕などの部品にすることを伝えました。

部品を胴体につけるときは、へらやくし等に水を少しつけてなじませるようにつけると良いことを伝えましたが、難しかったようで、先生方の支援が必要でした。それでも、子どもたちはいろいろ考えながら、形を工夫して自分なりのミニはにわを作ることに集中していました。今回は、1時間という短い時間の中での体験になりましたが、個性豊かな作品が完成しました。お疲れ様でした！



・「楽しかった。」

・「もっとやりたいです。」

・「いろいろな埴輪を作って楽しかったです。」



#### 大石先生の感想

「美術ではにわ(陶土で素焼き)を作ります。その導入として授業をしていただきました。小さいものを作ってみることで、イメージがもて、これからの活動が進めやすくなりました。はにわの説明を短くお願いしましたが、要望に応じていただき、難しく詳しく聞くより、専門家の方から簡単に聞いて良かったです。見本や手本をたくさん見せていただくことで、何をすれば良いか分かったと思います。歴史を理解することは難しい生徒ですが、実際の物作りを通して知ることができたと思います。」

